

はじめに

著者	村田 純一
雑誌名	神戸市外国語大学外国学研究
巻	86
発行年	2015-03-01
URL	http://id.nii.ac.jp/1085/00001766/



はじめに

グローバル化の進展とともに、わが国の英語教育は大きな転換期を向かえており、それは新学習指導要領の英語教育の改革に具体的に現れ、小学校の英語活動の必修化、中学校の週3時間から4時間への授業時間数の増加、そして高校の英語の授業は英語で行うことなどがすでに実施されてきている。また、東京オリンピック招致の決定と共に、さらに英語教育の強化に拍車がかかり、数年後には小学校から教科としての英語教育、中学校においても授業は英語で行うことが提案され、実施の方向に動いている。

このような提案を実施する事で、日本の英語教育に、あるいは日本人にとっての母語である日本語に果たしてどのような影響を及ぼすのであろうか。本研究班は「日本人の英語習得と日本語」というテーマで、ここ数年間そして、これからの数年間もおそらく大きな関心事となる英語教育と日本語の関係について、英語教育を含む第二言語習得を専門分野とする3人と小学校英語教育を専門とする1人をメンバーとして、本共同研究のテーマにふさわしい構成メンバーで共同研究を行なって来た。

以上の研究テーマについて各自の視点から考察、研究し、本共同研究の成果としてまとめたのが本書であるが、はたして、「日本人の英語習得と日本語」という大きなテーマをどれほどカバーし深く掘り下げる事ができたかは読者の評価を待つほかないであろう。ただ、それぞれメンバーの本研究に対する意欲と熱意は行間から窺うことができるものと確信している。

本書の刊行にあたって、神戸市外国語大学外国語研究所の方々にご尽力を頂いた事に、深く謝意を表したい。

2014年9月

英語教育研究班
代表 村田純一